

教育 その1(事務局加筆はアンダーライン)

No	1	2
交付金		
プロジェクト名	・街を明るくするプロジェクト	・寺子屋事業
課題	・通学路の安全性が確保されていない	・不登校への理解が進まない
対象	・夜間の歩行者	・学びたい人(全世代)
内容	・防犯と交通安全 ・不審者対策	・その人にあつた目的による学び
誰と	・事業主 ・地域住民	・すべての人が利用できるようカウンセラーが常駐 ・退職した先生(にお願いする)
どうして	・街灯が少ないから	・存在しないから
手法	・玄関先の電燈(イルミネーション)を夜間の時間を決めて点灯する	・フリースクール的な学びの場 ・いこいの場(多世代) ・地域や今いる人材を利用した学びの場 ・地域と学校のつながり
場所	・全町	・古民家(空き家、少し大きめ) ・公共施設 ・空調が入った学校、図書館 ・サマースクール(大学生を募集して教えてもらう) ・空き家
どんな順番で	1) 2) 3)	1) 2) 3)
結果として、 どんなまちになる？		

教育 その2(事務局加筆はアンダーライン)

No	3	
交付金	○	
プロジェクト名	<ul style="list-style-type: none"> <li>・生きる力を身に付ける</li> <li>・<u>職業体験・キャリア教育を通じて、児童生徒の郷土愛を育む</u></li> </ul>	
課題	<ul style="list-style-type: none"> <li>・学習環境が整っていない</li> </ul>	
対象	<ul style="list-style-type: none"> <li>・児童・生徒</li> </ul>	
内容	<ul style="list-style-type: none"> <li>・キャリア教育の推進</li> <li>・体験学習</li> <li>・人間として心を豊かにできるプログラム</li> <li>・職場体験、生きる力を身に付ける、何をやるかを見つけるプログラム</li> <li>・学校の福祉の勉強がたんなる施設体験になっていないかと思われる点の改善</li> </ul>	
誰と		
どうして	<ul style="list-style-type: none"> <li>・今の教育では不十分、機会がない</li> <li>・大人が何をしているかわからない</li> <li>・働く姿を見せる経験から体験の中で命の大切さをわかってもらう必要があるため</li> </ul>	
手法	<ul style="list-style-type: none"> <li>・見て知って体験へつなげるプログラム</li> <li>・職人、働く人のいろんな体験</li> <li>・日曜授業カリキュラム</li> <li>・子を地域ぐるみ、地域で育てるプログラム</li> <li>・中学生を対象にした葬式体験</li> <li>・心の学びや思いやりの心を育てる学校の福祉教育</li> <li>・会社と連携したビデオ学習</li> <li>・大人とのふれあい交流の場</li> <li>・地元の会社が地元へ残るために魅力を発信</li> </ul>	
場所	<ul style="list-style-type: none"> <li>・生きる力を身に付ける</li> </ul>	
どんな順番で	<ol style="list-style-type: none"> <li>1)</li> <li>2)</li> <li>3)</li> </ol>	
結果として、 どんなまちになる？		